



毎日新聞茅ヶ崎北口販売所
〒253-0061 茅ヶ崎市南湖1-1-28
TEL (86)4797 FAX (40)3835

茅ヶ崎の民話上演

茅ヶ崎
民話の会

◎えびす講(南湖)

商人街と漁師街がありました。漁師街は景気が良いのに商人街はさっぱりです。

「えびす様」のお告げは「お客様を神様と思ってお客様の喜ぶことを工夫しなさい」商人達も納得し、だんだん商人街も栄えていきました。



問合せ先 (86)8749 茅ヶ崎 江目

◎加賀屋敷のお地蔵様(西久保)

村人から大切にされていたお地蔵様がある日消えてしまいました。一生懸命捜すと、広い境内にポツンと立っていました。そして夜ごと泣きますので元の場所に戻しました。



◎日時場所
12月16日(土)午後2時~
図書館第一会議室

汐風のひとりごと

伊藤要次
昭和12年東京生まれ。80歳。
横浜で34年間
教師を勤める。
定年退職後
タレント経験有。
茅ヶ崎市在住。



【◎次世代に任せざるを得ません】

私たちの代で解決できずに次の世代に任せざるを得ない大きな課題は何でしょうか。第一に挙げられる課題は「少子高齢化」だと私は思っています。このままでは人口が減少してしまうのは避けられないでしょう。そうなればどうなってしまうのでしょうか。私たちの社会や生活はどうなるのでしょうか。人口減と共に日本は衰退の一途を辿るのでしょうか。

次に挙げられる課題は原発に関わることでしょう。使用済み核燃料をどうするのか、大津波による過酷な事故を起こした福島原発の廃炉は順調に進むのか、これらの課題も私たちの代では残念ながら解決できません。

そしてもう一つ挙げられる課題は国の借金が1000兆円を超えてしまったことです。国民一人当たり換算すると800万円以上になるそうです。国の財政支出を絞ろうとしても社会保障費は高齢化が進めば膨らむばかりです。

この3つの課題がどのように推移していくか甚だ興味深いのですが、80歳になった私にはこれらの課題の行く末を確かめることはできないでしょう。これらの課題を解決するには政治が正常に機能することが肝要ですが、残念ながら日本の政治の劣化は眼を覆うばかりです。国民の真の代表として精励している政治家は果たしてどの位居るのでしょうか。

先に挙げた課題は私たちの代では解決できず、若い世代、10代から30代の世代に任せざるを得ません。ただ、日本人の人口構成を見ると、少子高齢化が進んで若い世代は少なく、高齢者が多い構成になっています。ここに国政選挙の投票率を重ねてみましょう。先の衆議院選での20代の投票率と60代の投票率を比べると、20代の投票率は60代の投票率の半分にも満たない状態でした。これでは選挙になれば、政治家たちは高齢者に都合の良い政策を打ち出すでしょう。その上、社会が次第に右傾化しています。若い世代がどんな選挙にも投票してくれることを願わずにはられません。

それでは私たちにできることはないのでしょうか。できることは限られていますが、一人の庶民として私なりに努力していることがあります。まず健康寿命を少しでも延ばすことです。寝たきりにならずに自分の身の回りのことは自分でできるように心がけることです。そうすれば医療費を使わないようにできるでしょう。それに政治や社会の動きを常に注視することも肝要です。私はどんな選挙も棄権したことはありません。自分の一票はささやかですが、日本の政治を良くしたいと思って一票を投じます。更に機会があれば自分の思いを発信するようにしています。熟慮すればどなたにもやれることはある筈です。

話は全く変わりますが、最後に私の自己PRを1つさせてください。タレントとして活動していた最初の頃、私は新宿の劇場で一人芝居を演じたことがあります。「闇の中」という東北弁の一人芝居です。この時はNHKが取材してくれて放映されました。これを11月26日(日)正午から勤労市民会館で再演します。特別なステージもなく、フラットな場所でどうやって演じるか、色々と思いを巡らせています。傘寿を迎えた老人の拙い素人芸ですが、ご笑覧いただければ幸甚です。

「用もなく 時にも終われず のんびりと

モーニングコーヒーをひとり愉しむ」



毎日の本棚



あなたが笑うと、 あなたの大切な人が笑うよ

西原理恵子：著 定価：本体1000円(税別)

大人気育児ギャグ漫画『毎日かあさん』が今年6月に完結。累計250万部の全話から、特に多くのお母さんたちの心をわしづかみにした言葉を漫画のコマと共に収録した毎日かあさん名言集。子育て中のお母さんたちの心を軽くするサイバラ哲学が満載！
<四六判/144頁>



卒母のススメ

西原理恵子+卒母ーズ：著
定価：本体1000円(税別)

「子離れ」を決意できますか？
そのさみしさ、ためらい、喜び……
全国のお母さんたちの笑って泣ける体験談+
西原理恵子描き下ろし漫画！

足かけ16年続いた連載終了時、作者が「卒母宣言」したのを受け、毎日新聞が卒母についての感想・体験談を募集し連載。本書には、素晴らしすぎて掲載できなかった衝撃作を含む傑作実話101編を収録。
<四六判/144頁>



毎日新聞出版の最新刊から厳選！ ご注文は茅ヶ崎北口販売所まで

かながわの花の名所100選

④鎌倉・光則寺(カイドウ)
見頃：4月上旬～中旬

鎌倉時代、日蓮上人が幕府や諸宗を批判したとして佐渡へ流された時、高弟の日朗も捕らえられて、幕府の御家人であった宿屋光則の邸内の土牢に幽閉された。しかし、日蓮が弟子を案ずる姿に心を打たれた光則は、やがて日蓮に帰依し、日蓮が放免されると邸を寺院に建て替え、日朗を開山に迎えて光則寺を創建した(1274年)。寺院内には、日朗が幽閉されていた土牢や、日蓮が日朗を励ました手紙の内容が刻まれた石碑などが残されており、見学可能。

本堂前のカイドウは、樹齢200年の古木と言われ、鎌倉市の天然記念物、及び「かながわの名木100選」にも指定されている。その他、フジの花や200種類に及び多彩なアジサイなど、四季折々の花が絶えない「花の寺」として親しまれている。4、8、10月を除く毎月21日の10～11時には「お経の会」が開催され、読経体験ができる。(参加費200円、予約不要)

〔交通〕江ノ電長谷駅→徒歩6分又はJR横須賀線鎌倉駅からバス→長谷観音下車→徒歩4分
〔拝観料〕100円(高校生以上) 〔拝観時間〕7:30～日没 〔問合せ〕0467(22)2077

100選に登録されているものをご紹介します。この時期に花が見頃の場所は既出の為、季節がズレた花のご紹介となりますが、出来るだけ今の季節でも楽しめる所を載せておりますのでご了承下さいませ。